

第3次茨木市男女共同参画計画策定に係るヒアリング調査の実施について

(1) 目的

男女共同参画計画の策定において重要なテーマについて、それぞれの分野の専門家、当事者等が日頃感じていることや課題の有無、解決の方向性などの意見を聴取して、計画の内容に反映する。

(2) テーマと調査対象（案）

テーマ	計画策定上の課題	ヒアリング項目・対象
①女性の活躍推進	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会の持続的成長とジェンダー平等のためにあらゆる分野における女性の活躍推進が求められている ・ 継続就労を希望する女性は増加しているが、両立支援の環境が十分とはいえない ・ 女性が仕事上の能力開発、経験の蓄積を行う機会が男性に比べて少ない ・ 女性経営者、女性管理職の割合が低い 	<p>働きやすい職場づくり推進事業所（働きやすい職場づくり推進事業所認定制度（※）により認定を受けた事業所）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 女性の就労継続における障壁（女性自身の意識・家庭環境・職場環境・家族関係等） ・ 女性の活躍推進に取り組んだきっかけ ・ 女性の職業的スキルアップの取組事例及び効果 ・ 女性経営者や管理職が増えるために必要なこと <p>※ 市内事業所の自主的な取組を促進し、勤労者の健康で豊かな働き方の実現を図るため、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進、仕事と子育て・介護の両立支援及び女性活躍推進等の働きやすい職場づくりに取り組む事業所を市が認定するとともに、当該事業所の取組内容を公表している。</p>
②困難を抱える女性への支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ DVに関する一般的な認知は広まっているが、支援を必要とする人への支援が十分とはいえない ・ DVと児童虐待の関わりが大きい ・ 女性ひとり親家庭の生活困窮など女性の貧困問題 	<p>配偶者暴力相談支援センターの相談員、DV被害者支援等を行う団体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 支援から見えるDV被害者等の困難を抱える女性のおかれている状況 ・ DV被害者等への相談支援などの対応における課題 ・ DV被害者支援から見える児童虐待への対応における課題 ・ DV被害者、ひとり親家庭の自立支援における課題 ・ DV防止啓発の方向性 <p>ひとり親自立支援員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ひとり親家庭の自立支援における課題

<p>③男性のワーク・ライフ・バランス（子育てへの参画を中心に）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 男性の育児参加は、親子ともにより影響をもたらすとの認識は広まっているが、職場環境が整っていないなど男性が育児・家事に十分に参画できていない 	<p>育児休業を取得した男性職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家庭における育児・家事に対する意識 ・ 平日・休日に行う育児・家事の行動 ・ 育児休業取得に関する職場の支援 <p>育児休業を取得した男性が所属する課の職員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 育児休業取得に関する職場の支援 <p>働きやすい職場づくり推進事業所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 男性の育児・家庭参画支援の取組事例及び効果
<p>④地域防災における男女共同参画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域活動は男性とともに多くの女性が支えているが、意思決定の場への女性の参画率が低い ・ 地域防災活動における男女共同参画の視点が求められている 	<p>ヒアリングに代えて、ローズWAMで開催する防災女性リーダー講座（※）での意見を抽出する。</p> <p>※ R3年8月～R4年2月に全3回の連続講座として開催。ワークショップを通して、女性の視点・多様な視点をいかした防災・避難所運営をまとめたリーフレットを作成する。</p>